

2026年3月

TG/203/1 Rev. Corr. 2003-04-09 + 2015-03-25 + 2020-02-25 に準拠

カンキツ属
(レモン及びライム類)
(*Citrus* L. - Group 3)
LEMONS and LIMES

カンキツ属（レモン及びライム類）審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科 (*Rutaceae*) カンキツ属 (*Citrus* L.) の、別表 1 に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は 1 年生苗木
- ii) 数量 10 個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5 個体
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)~(h)で示した時期に行う。
 - (a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。
 - (b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は先端小葉）について調査する。
 - (c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について開花初日に調査する。
 - (d) つぼみに関する形質は、つぼみが開く直前で花卉の先端が見えたときに調査する。
 - (e) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (f) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。また、果皮の油分に関する形質は、果実の収穫後 3~7 日の間に皮をむいて調査する。

- (g) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
- (h) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 若葉のアントシアニン着色の有無 (形質 5)
- ii) 果実の長さ (形質 32)
- iii) 果実の果梗部のネックの有無 (形質 37)
- iv) 果実の果頂部の乳頭状突起の有無 (形質 42)
- v) 果実の表面の色 (形質 49)

VI. 特性表で使用する記号の説明

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表 1

学名	Subgroup	和名
<i>Citrus assamensis</i> S. Dutta & S.C. Bhattach.	LEM	アダジャミー
<i>Citrus aurantiifolia</i> (Christm.) Swingle	SAL	ライム
<i>Citrus aurata</i> Risso	LEM	スイートライム
<i>Citrus balotina</i> Poit. & Turpin	LEM	バロチンベルガモット
<i>Citrus bergamia</i> Risso & Poit.	SAL	ベルガモット
<i>Citrus davaoensis</i> (Wester) Tanaka	SAL	カルピー
<i>Citrus duttae</i> Tanaka	LEM	ハシュクリー
<i>Citrus excelsa</i> Wester	SAL	レモンリアル
<i>Citrus hyalopulpa</i> Tanaka	SAL	セキロクカン
<i>Citrus jambhiri</i> Lush.	LEM (RLM)	ラフレモン
<i>Citrus javanica</i> Blume	SAL	ジェロークハンジ
<i>Citrus karna</i> Raf.	LEM	カルナカッタ
<i>Citrus latifolia</i> (Yu. Tanaka) Tanaka	SAL (LAL)	タヒチライム
<i>Citrus limetta</i> Risso	LEM	スイートライム
<i>Citrus limettioides</i> Tanaka	SAL (SWL)	スイートライム
<i>Citrus limon</i> (L.) Burm. f.	LEM	レモン
<i>Citrus limon</i> (L.) Burm. x <i>C. aurantiifolia</i> (Christm.) Swing.	HLL	(レモン×ライム)
<i>Citrus limonia</i> Osbeck	LEM	ヒメレモン
<i>Citrus longilimon</i> Tanaka	LEM	アッサムレモン
<i>Citrus longispina</i> Wester	SAL	タラミサン
<i>Citrus lumia</i> Risso & Poit.	LEM	ルミー
<i>Citrus macrolimon</i> Tanaka	LEM	ガルガルラージ
<i>Citrus megaloxycarpa</i> Lush.	LEM	アミルベット
<i>Citrus mellarosa</i> Risso	LEM	メラローサ
<i>Citrus meyeri</i> Yu. Tanaka	LEM	マイヤーレモン
<i>Citrus montana</i> (Wester) Tanaka	SAL	ビロロ
<i>Citrus obversa</i> Hassk.	SAL	ジェロークバリック
<i>Citrus ovata</i> Hassk.	SAL	ジェロークタンジエン グブーラー
<i>Citrus papaya</i> Hassk.	SAL	ジェロークパパヤ
<i>Citrus peretta</i> Risso	LEM	ペレッタ
<i>Citrus pseudolimon</i> Tanaka	LEM	ヒルレモン
<i>Citrus pseudolimonum</i> Wester	SAL	フォールスレモン

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid	ヒルモン、リスボン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 タチライム	
2	2	PQ (* (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	リスボン タチライム、ラフレモン、マイヤー、璃の香 ヒルモン	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中密	absent or sparse intermediate dense	マイヤー、ハロツンベルカモット リスボン、ヒルモン、璃の香 タチライム、ラフレモン	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ(とげのある品種に限る。)	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム、ヒルモン、璃の香 リスボン、マイヤー ラフレモン	
5	5	QL (* G	若葉のアントシアニン着色の有無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	スイートライム タチライム、リスボン、ヒルモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香	
6	6	QN	若葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	タチライム、ラフレモン マイヤー、璃の香 リスボン、ヒルモン	
7	7	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム、ヒルモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 7)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ヒルモン タヒチライム、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	
9	9	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 7)	成葉の葉身の長さとの幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	スイートライム タヒチライム、リスボン、ラフレモン、マイヤー ヒルモン、璃の香	
10	10	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 7)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
11	11	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
12	12	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
13	13	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	マイヤー、ラフレモン タヒチライム、ヒルモン、リスボン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	タチライム リスボン、ラフレモン、マイヤー、ヒメルモン、璃の香	
15	15	PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	リスボン タチライム、璃の香、マイヤー、ヒメルモン ラフレモン、パロチンベルカモット	
16	16	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		
17	17	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	璃の香 ヒメルモン、リスボン、ラフレモン、マイヤー タチライム、ビロロ	
18	18	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	リスボン、ラフレモン、マイヤー タチライム、ヒメルモン、璃の香	
19	19	QN	葉柄の翼葉の幅	<u>Varieties with petiole wings present only:</u> Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	タチライム、ヒメルモン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QL	つぼみのアントシアニン着色の有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	タチライム、リスボン、ラフレモン、マイヤー、璃の香	
21	21	QN	つぼみのアントシアニン着色の強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	タチライム リスボン、ラフレモン、璃の香 ヒメモン、マイヤー	
22	22	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
23	23	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム、ヒメモン、ラフレモン リスボン、マイヤー、璃の香	
24	24	QN	花弁の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	タチライム ヒメモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	
25	25	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さ／幅の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ラフレモン、マイヤー タチライム、ヒメモン リスボン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム ヒレモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	
27	27	QL	雄ずいの基部の融合の有無	Flower: basal union of stamens	雄ずいの基部の融合の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	タチライム、リスボン、ヒレモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香	
28	28	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	タチライム、璃の香 リスボン、ヒレモン、ラフレモン、マイヤー	
29	29	QL	花粉の稔性の有無	Anther: viable pollen	稔性花粉の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
30	30	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	タチライム ヒレモン、ラフレモン、マイヤー リスボン、璃の香	
31	31	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果房）の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
32	32	QN (* G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (e) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ヒレモン マイヤー、ラフレモン リスボン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	QN (*)	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ヒルモン、タチライム マイヤー、ラフレモン リスボン、璃の香	
34	34	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の比	測定 比 (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ヒルモン、ラフレモン タチライム、マイヤー、璃の香 リスボン	
35	35	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (e) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	リスボン、ヒルモン、ラフレモン、マイヤー タチライム、璃の香	
36	36	PQ (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (e) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	タチライム、ヒルモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香 リスボン	
37	37	QL (*) (+) G	果実の果梗部のネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネックの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	スイートライム タチライム、リスボン、ヒルモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	
38	38	QN	果実の果梗部のネックの長さ	<u>Necked varieties only</u> ; Fruit: length of neck	果実の果梗部のネックの直径	観察 (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39	QL (* (+)	果実の果梗部のへこみの有無 (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	タチライム、マイヤー リスボン、ヒメルモン、ラフレモン、璃の香	
40	40	QN	果実の果梗部のへこみの深さ (ネックが無の品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	リスボン、ヒメルモン、ラフレモン、璃の香	
41	41	QN (+)	果実の果頂部の形(乳頭状突起、へその隆起及び凹環は含まない。)	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (e) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ヒメルモン、ラフレモン、璃の香 リスボン、タチライム、マイヤー	
42	42	QL (* (+) G	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	Fruit: presence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	リスボン、ヒメルモン、ラフレモン、マイヤー、璃の香	
43	43	QN	果実の乳頭状突起の突出の強弱	Fruit: prominence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の突出の強弱	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	マイヤー、璃の香 ヒメルモン、 リスボン、ラフレモン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ヒルモン、璃の香 タヒチライム、ラフレモン、マイヤー リスボン	
45	45	PQ	花柱の果実への残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存の程度	観察 (e) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
46	46	QL	果実の果頂部の放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	マイヤー タヒチライム、リスボン、ヒルモン、ラ フレモン、璃の香	
47	47	QN	果実の果頂部の放射状溝の明瞭さ	Fruit: expression of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の明瞭さ（放射状溝が有の品種に限る。）	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
48	48	QL	果皮色の複色の有無	Fruit: color variegation	果皮の色の複色性（斑、アントシアニン等）の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	タヒチライム、リスボン、ヒルモン、ラ フレモン、マイヤー、璃の香	
49	49	PQ G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の主な色	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4 5	緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙	green yellow green light yellow medium yellow yellow orange	タヒチライム リスボン、璃の香 ビロロ マイヤー	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	50	QN (*)	果実の表面の光沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の光沢の程度	観察 (e) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ヒルモン タチライム、リスボン、ラフレモン マイヤー、璃の香	
51	51	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の粗滑の程度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	タチライム、マイヤー、璃の香 リスボン、ヒルモン ラフレモン	
52	52	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (e) (f) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	タチライム、リスボン、ラフレモン、ヒルモン、璃の香 マイヤー	
53	53	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
54	54	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	ヒメルモン、マイヤー、璃の香 タヒチライム、リスボン、ラフレモン	
56	56	QN	果実の表面のへこみの密度（へこみのある品種に限る。）	<u>Varieties with fruit surface: pitting present only:</u> Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
57	57	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	タヒチライム、ヒメルモン マイヤー、璃の香 リスボン、ラフレモン	
58	58	QN (*)	果皮の油の多少	Fruit rind: oiliness	剥皮時の油胞から出る油の多少	観察 (e) (f) VG	3 5 7	少 中 多	dry medium oily	タヒチライム、ラフレモン、マイヤー リスボン、ヒメルモン、璃の香	
59	59	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (e) (g) VG	1 2 3	淡緑 淡黄 ピンク	light green light yellow medium pink	タヒチライム リスボン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (e) (g) VG	1 3 5 7 9	無又は極疎 疎 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ラフレモン ヒルモン、マイヤー、璃の香 リスボン、タヒチライム	
61	61	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (e) (g) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	タヒチライム、ヒルモン リスボン、マイヤー、璃の香 ラフレモン	
62	62	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (e) (g) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	タヒチライム、リスボン、ヒルモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	
63	63	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (e) (g) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	ヒルモン タヒチライム、リスボン、マイヤー、ラフレモン 璃の香	
64	64	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ヒルモン、璃の香 タヒチライム、リスボン、マイヤー、ラフレモン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ビロロ タチライム、ヒルモン、ラフレモン リスボン、マイヤー、璃の香	
66	66	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ヒルモン タチライム、リスボン、マイヤー、璃の香 ラフレモン、ビロロ	
67	67	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
68	68	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
69	69	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (e) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	タチライム、リスボン、ヒルモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	
70	70	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量 (Brix)	測定 % (e) MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	タチライム、リスボン、ヒルモン、マイヤー、ラフレモン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度 (クエン酸)	測定 % (e) MG	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	スイートライム ヒルモン ラフレモン、璃の香 タチライム、リスボン、マイヤー	
72	72	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ラフレモン、マイヤー タチライム、リスボン、ヒルモン、璃の香	
73	73	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	タチライム	
74	74	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の1果当たりの種子数	測定 (e) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many	タチライム、ヒルモン 璃の香 リスボン、 ラフレモン、マイヤー	
75	75	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (h) VG	1 9	無 有	absent present	ヒルモン、マイヤー、璃の香 リスボン、ラフレモン	
76	76	QL (*)	四季咲き性の有無	Flowering habit	四季咲き性 (開花期が年に2回以上)の有無	観察 VG	1 2	1回のみ 2回以上	flowering once flowering more than once	ヒルモン、マイヤー タチライム、リスボン、ラフレモン、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	77	QN (*)	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ヒルモン、璃の香 リスボン、ラフレモン、マイヤー	
78	78	QL (*)	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	タヒチアイム	
79	79	QL (+)	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	タヒチアイム	

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 樹姿 Char. 2 Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 15 葉身の先端部の形 Char.15 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形



4
円形

形質 16 葉身の先端の切れ込みの有無

Char.16 Leaf blade: emargination at tip



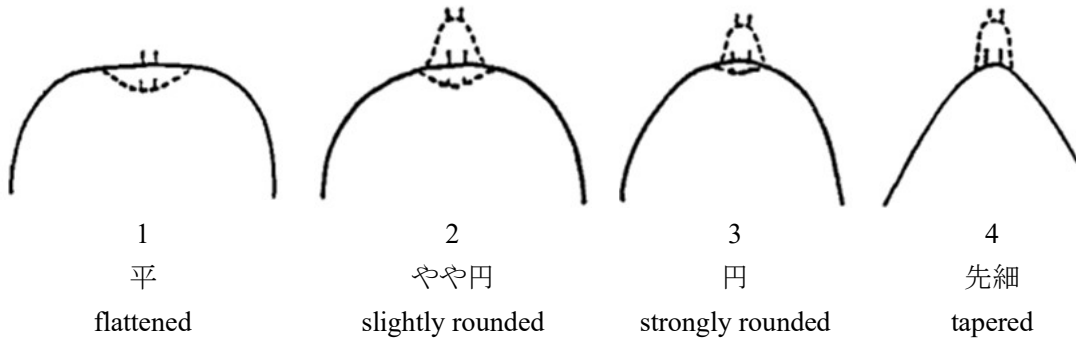
1
無
absent



9
有
present

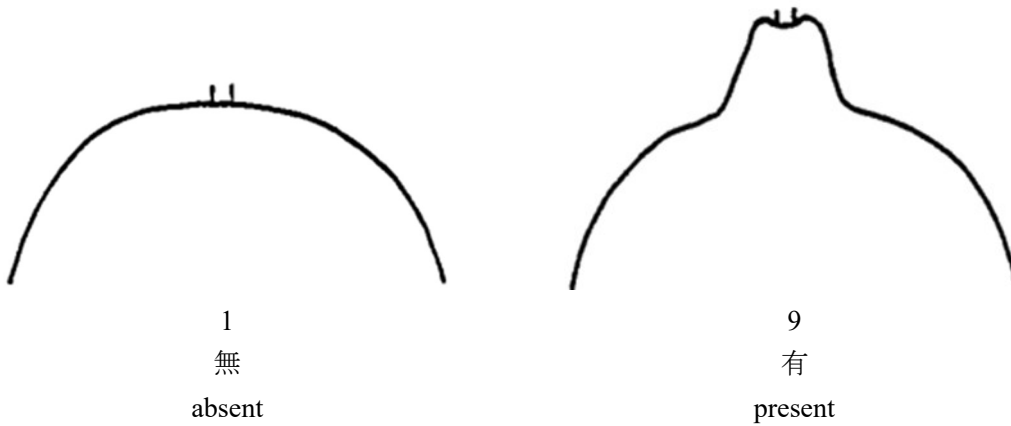
形質 36 果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.36 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



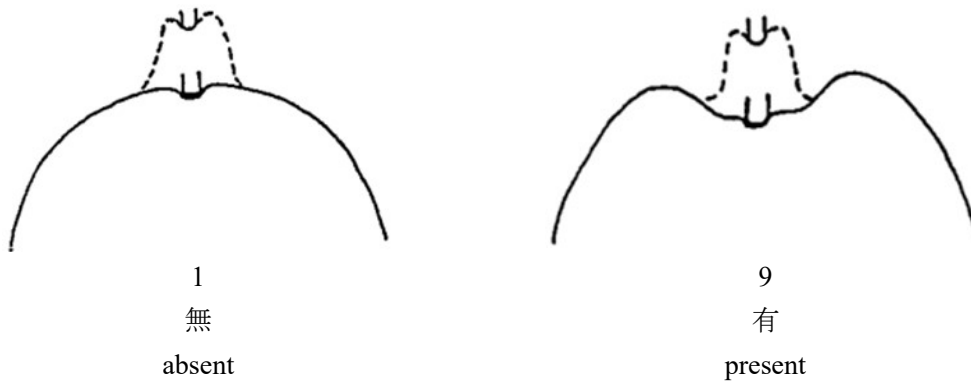
形質 37 果実の果梗部のネックの有無

Char.37 Fruit: presence of neck



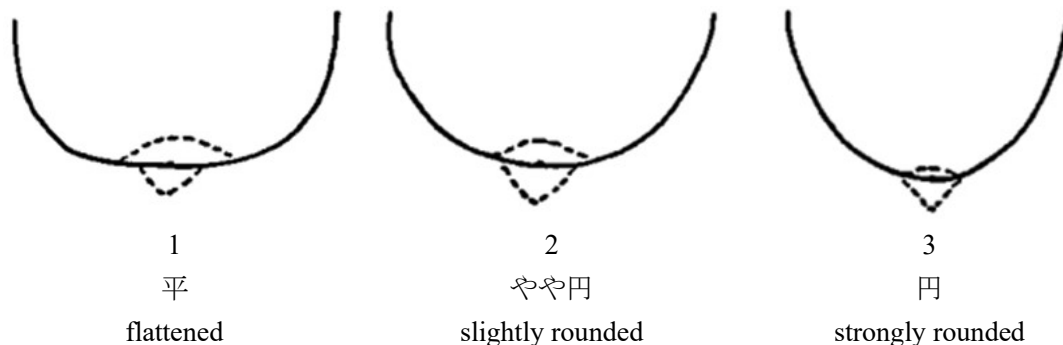
形質 39 果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.39 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



形質 41 果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその隆起及び凹環は含まない。）

Char.41 Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal part)



形質 42 果実の果頂部の乳頭状突起の有無

Char.42 Fruit: presence of nipple



形質 73 自家受粉の場合の種子数

Char.73 Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 74 自然受粉の場合の種子数

Char.74 Fruit: number of seeds (open pollination)

Open pollination は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 79 自家不和合性の有無

Char.79 Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.